



—東地中海・北アフリカ地域ニュース—

イスラエル・スーダン：イスラエル空軍によるスーダン空爆

(26日付現地各紙)

2011年12月26日付イスラエル各紙は、IAF（イスラエル空軍）によるスーダン空爆に関するスーダンの25日付報道について報じている。

1. スーダンのメディア2社は25日、IAFが過去数週間に2度、スーダンにおいて、ガザ地区に向けた武器密輸関係者を標的とした空爆を実施し、数名が殺害されたと報じた。イスラエル政府関係者は本件についてコメントを拒否したほか、スーダン軍の報道官は25日夜、同国の防空システムはいかなる領空侵犯も確認していないとして、同報道内容を否定したという。
2. 上記2社のうち1社によれば、IAFによる空爆は11月末および12月15日に実施された。前者においては、スーダン北部のエジプトとの国境付近で車両2台が爆撃され、2名が死亡、1名が負傷した。後者においては、スーダン沿岸部の島の上空でアパッチヘリコプターが確認されたという。
3. 上記2社のうちもう1社によれば、空爆は12月15日および18日に実施された。前者においては、車両が爆撃され民間人4名が死亡、後者においては車両1台が爆撃され、乗車していた全員が死亡したという。
4. スーダンは、イランからガザ地区のハマースおよびイスラミック・ジハード（PIJ）に向けての武器密輸の重要な中継地点と言われており、2009年1月および4月にも、IAFのスーダンにおける同様の空爆により数十名が死亡したと米・英のメディアにより報じられた。

◎本「かわら版」の許可なき複製、転送、引用はご遠慮ください。

ご質問・お問合せ先 財団法人中東調査会 TEL:03-3371-5798、FAX:03-3371-5799